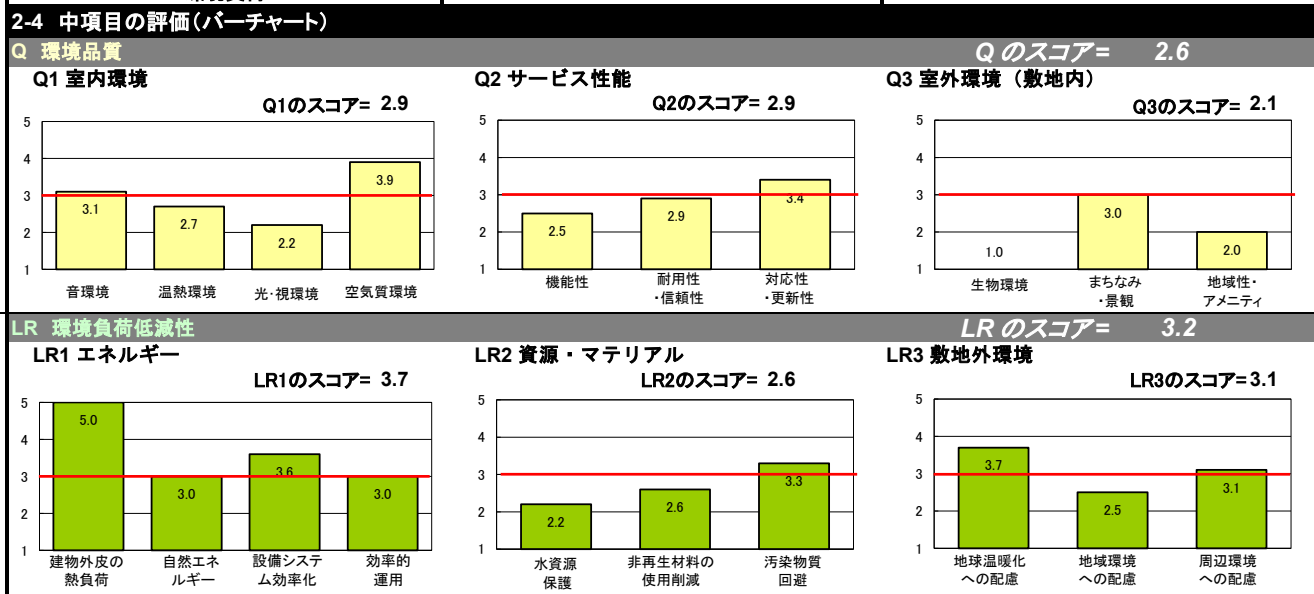
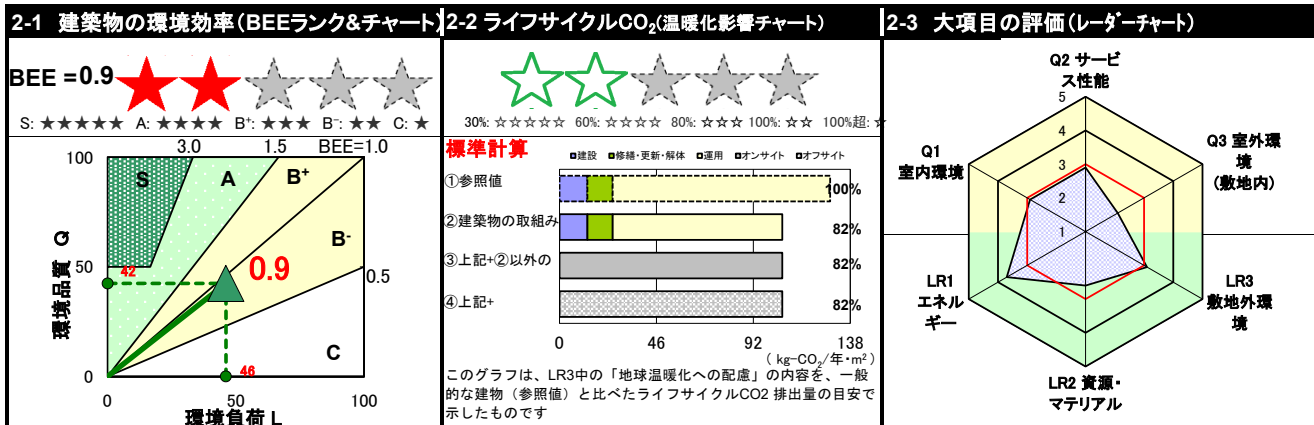




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)井土ヶ谷中町計画新築工事(横浜トヨペット南店建替)	階数	地上6F
建設地	横浜市南区井土ヶ谷中町158番4	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	660 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集会所,病院,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 竣工	評価の実施日	2022年2月3日
敷地面積	2,247 m ²	作成者	大和ハウス工業㈱横浜支社
建築面積	1,932 m ²	確認日	2022年2月4日
延床面積	9,034 m ²	確認者	大和ハウス工業㈱横浜支社



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ練習場を備えた複合施設で、地域の活動やにぎわいに配慮している。 ・室内環境、サービス性能への取り組みを行う。 ・敷地内外環境に配慮している。 ・エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている。 	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・室温設定への配慮を行う。 ・受動喫煙の防止に努めている。 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数の長い給排水管を採用している。 ・壁長さ比率への十分な配慮を行う。
<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木植栽、屋上緑地の設置をしている。 	
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明等の高効率設備機器を採用している。 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・LGS下地等、建物のリサイクル性に配慮している。 ・有害物質を含まない防水工事のプライマー採用。
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・LCCO₂の排出削減に努めている。 ・光害の抑制に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



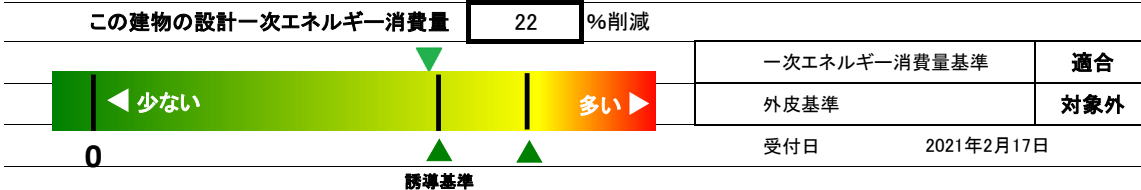
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)井土ヶ谷中町計画新築工事(横浜トヨペット南店建替え)

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI_m=0.59

③BEI_m=0.78

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪F☆☆☆☆又は告示対象外品を採用

⑪条例により全館禁煙としている

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

(仮称)井土ヶ谷中町計画新築工事(横浜トヨペット南店建替え)

バージョン

CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階	重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
配慮項目								
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境					0.38			2.9
1 音環境				3.1	0.15	-	-	3.1
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	-
1.2 遮音				4.4	0.40	-	-	-
1.2.1 開口部遮音性能				5.0	0.75	-	-	-
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	0.25	-	-	-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-	-
2 温熱環境				2.7	0.35	-	-	2.7
2.1 室温制御				3.3	0.50	-	-	-
2.1.1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	4.0	0.40	-	-	-
2.1.2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.23	-	-	-
2.1.3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.37	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境				2.2	0.25	-	-	2.2
3.1 昼光利用				2.0	0.41	-	-	-
3.1.1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.48	-	-	-
3.1.2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3.1.3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.52	-	-	-
3.2 グレア対策				1.0	0.18	-	-	-
3.2.1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	1.00	-	-	-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.41	-	-	-
4 空気質環境				3.9	0.25	-	-	3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	-
4.1.1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-	-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	-
4.2.1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.40	-	-	-
4.2.2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.21	-	-	-
4.2.3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.40	-	-	-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	-
4.3.1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
4.3.2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	5.0	1.00	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.9
1 機能性				2.5	0.40	1.0	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ				2.7	0.40	-	-	-
1.1.1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.11	-	-	-
1.1.2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.11	-	-	-
1.1.3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.78	-	-	-
1.2 心理性・快適性				1.8	0.30	1.0	1.00	-
1.2.1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.18	-	-	-
1.2.2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.17	-	-	-
1.2.3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.66	1.0	1.00	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-
2.1.1 耐震性		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2.1.2 免震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-	-
2.2.1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備		防災	⑯信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備		防災	⑯信頼性	1.0	0.20	-	-	-
2.4.3 電気設備		防災	⑯信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.4 機械・配管支持方法		防災	⑯信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備		防災	⑯信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり				4.4	0.30	-	-	-
3.1.1 階高のゆとり				5.0	0.43	-	-	-
3.1.2 空間の形状・自由さ				4.0	0.57	-	-	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 2-141



CASBEE横浜2017年版v.1.7

(仮称)井土ヶ谷中町計画新築工事(横浜トヨペット南店建替え)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.7

(仮称)井土ヶ谷中町計画新築工事(横浜トヨペット南店建替え)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.32	-	-	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.6	0.50	-	-	-	-	3.6
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-	-	-
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
	集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	-
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	-
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	-	2.6
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	-
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	-	-
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-	-	-
	1 消火剤			-	-	-	-	-	-	-
	2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-	-	-
	3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮				3.7	0.33	-	-	-	-	3.7
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	-
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-	-
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-
	3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-
	4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	-
	1 騒音			3.0	1.00	-	-	-	-	-
	2 振動			-	-	-	-	-	-	-
	3 悪臭			-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	-
	1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-	-
	2 砂塵の抑制			-	-	-	-	-	-	-
	3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-	-	-
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-	-	-
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-	-
上記以外の重点項目										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	-
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	-	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	-	-	-	-	-	-	-